

目標設定シート (2009年度)

部局と評価項目・要素

対象部局	法学研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.4 教育成果
小項目	6.4.1 教育目標に沿った成果が上がっているか。
要素	学生の学習成果を測定するための評価指標の開発とその適用 学生の自己評価、卒業後の評価（就職先の評価、卒業生評価）
小項目	6.4.2 学位授与（卒業・修了判定）は適切に行われているか。
要素	学位授与基準、学位授与手続きの適切性 学位審査および修了認定の客観性・厳格性を確保する方策（院）

○2009年度からの目標

1. 学習成果を図る適切な評価指標を開発するために、まず学習にとって阻害的効果をもたらす諸要因を発見し、これを除去するための検討を行う。
2. 各プログラムに特有の教育上の問題点を発見するための手続を整備する。
3. 後期課程における論文指導の適切さを高めるために手続の改善を図る。
4. 学位審査の客観性・厳格性を対外的に確保するために学位審査手続の公開性を高める。

○指標

1. 「学生・教員に対するアンケート調査の実施と分析」「拡大大学院問題検討委員会（およびその内部に設置するWG）における教育効果についての分析・検討」
2. 「学生・教員に対するアンケート調査の実施と分析」「プログラム別教員会議の設置と検討の進捗状況」
3. 「正副指導教員からなる指導委員会による論文指導プロセスの検証と指導項目・指導方法の明文化の検討」「博士学位取得モデルの妥当性に関する定期的な検証とその改善」「内規ないし履修モデルの改正」
4. 「公開での口頭試問の実施率」「学外・研究科外の審査委員の招聘率」「学位審査手続の公開性を高めるための検討の進捗状況」「規程ないし内規の改正」